―― 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。――

「使用上の注意」改訂のお知らせ

2022年5月

大鵬薬品工業株式会社

β-ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質製剤
日本薬局方　注射用タゾバクタム・ピペラシリン

処方箋医薬品
薬価基準収載

ゾシン®静注用 2.25 4.5

注射用タゾバクタム・ピペラシリン

処方箋医薬品
薬価基準収載

ゾシン®配合点滴静注用バッグ 4.5

ZOSYN®

（略号：TAZ/PIPC）

このたび、標記製品の「使用上の注意」を以下の通り改訂致しましたので、ご案内申し上げます。
今後のご使用に際しまして下記をご参照いただくとともに、副作用等の治療上好ましくない事象をご経験されました際には、弊社医薬情報担当者（MR）に速やかにご連絡くださいますよう御願い申し上げます。

Ⅰ. 改訂の概要

改訂項目	改訂内容
重大な副作用	「中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群、急性汎発性発疹性膿疱症」の項に、「多形紅斑」を追記　《自主改訂》

Ⅱ. 改訂箇所の対比表　（ ____：改訂箇所）

改訂後	改訂前
4.副作用 **(1)重大な副作用** ＜略＞ 2)中毒性表皮壊死融解症（Toxic Epidermal Necrolysis：TEN）、皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群）、多形紅斑、急性汎発性発疹性膿疱症：中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群、多形紅斑、急性汎発性発疹性膿疱症（頻度不明）があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。 ＜略＞	**4.副作用** **(1)重大な副作用** ＜略＞ 2)中毒性表皮壊死融解症（Toxic Epidermal Necrolysis：TEN）、皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群）、急性汎発性発疹性膿疱症：中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群、急性汎発性発疹性膿疱症（頻度不明）があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。 ＜略＞

Ⅲ. 改訂内容の解説

「重大な副作用」　《自主改訂》
本剤との関連が否定できない「多形紅斑」の副作用報告が集積されたことから追記しました。

・改訂内容は、DSU 医薬品安全対策情報　No.308（2022年6月）に掲載予定です。
・最新の医薬品添付文書情報等は、下記ホームページに掲載されておりますのでご参照ください。
PMDAホームページ「医薬品に関する情報」（https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html）
大鵬薬品工業株式会社「医療関係者向け情報サイト」（https://www.taiho.co.jp/medical/）
・添付文書閲覧アプリ「添文ナビ」を用いて、以下のGSIバーコードを読み取ることで、PMDAホームページ上の最新の電子添文等をご確認いただけます。

ゾシン静注 用 2.25	ゾシン静注 用 4.5	ゾシン配合点滴静注用バッグ4.5
(01)14987117395263	(01)14987117395287	(01)14987117395300

［**お問い合わせ先**］
大鵬薬品工業株式会社　医薬品情報課
〒101-8444　東京都千代田区神田錦町1-27
TEL　0120-20-4527（フリーダイヤル）［受付時間：9:00～17:30（土、日、祝、弊社休業日を除く）］